

2月2日に発生した京都府宮津市外垣地内を流れる二級河川犀川（京都府管理）で隣接する山が崩壊し、倒木や土砂により河川が埋そくする被害について、京都府より埋そく河川の復旧に係る技術的な支援要請があったため、近畿地方整備局は、緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）を現地に派遣し、調査を実施すると共に現地調査結果を踏まえ技術的な支援を行った



○活動日：平成28年2月5日（金）

○TEC-FORCE 活動メンバー

石塚 忠範（六甲砂防事務所 事務所長）

田中 徹（福知山河川国道事務所 副所長）

北川 眞一（福知山河川国道事務所 建設専門官）



河川の埋そく状況や崩壊斜面の状況を調査するTEC-FORCE

埋そく河川の復旧に係る技術的な支援

- 崩壊斜面の監視、観測を行い、移動状況を把握し、復旧作業の安全対策を万全にする。特に、地すべり上部の斜面については、滑落地形や湧水が見られることから、伸縮計を設置するなどして注視する
- 出水期までにどのような状況にするのかを視野に入れ、復旧する仮河道について検討し、必要に応じ護岸保護や護床対策を施す必要がある
- 崩壊土砂上の倒木を出来るだけ速やかに除去し、移動土塊の状況を把握するとともに、すべり面等の詳細な調査を行い、最終的な復旧方法を検討する必要がある



京都府への技術的な支援